

広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ

Hosokawa × Beethoven 8

「被爆75年」「ベートーヴェン生誕250年」が交差する2020年。

広島にとってかけがえのない二人の作曲家の出会いを下野・広響がプロデュースする

〈Hosokawa × Beethoven〉シーズンⅡ

2020.12.17 [木] 18:45開演 (17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール

Thu Dec 17, 2020 Start 18:45 (Open 17:45) JMS ASTER PLAZA

program

ベートーヴェン: 劇音楽「アテネの廃墟」作品113 序曲

Beethoven: Die Ruinen von Athen, Op.113 Overture

細川俊夫: ホルン協奏曲 ー開花の時ー

Toshio Hosokawa: Horn Concerto ーMoment of Blossomingー

ベートーヴェン: 交響曲第8番へ長調作品93

Beethoven: Symphony No.8 in F major Op.93

コンサートマスター: 佐久間 聡一 Concertmaster: Soichi Sakuma

■ チケット料金 / S席:5,300円 A席:4,300円 B席:3,300円 (学生:1,000円)

※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

■ チケット取扱い / JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、ローソンチケット(Lコード:62810)、チケットぴあ(Pコード:175-018)、広響事務局

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 共催 / 公益財団法人広島市文化財団

協賛 / 中国電力、広島銀行、広島電鉄、マツダ 後援 / 広島市、広島市教育委員会



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

～“讃” 平和を讃えて～

指揮: 下野 竜也

Conductor: Tatsuya Shimono

©Naoya Yamaguchi

ホルン: 福川 伸陽

Horn: Nobuaki Fukukawa

助成 /



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人アフィニス文化財団

※入場者数を1/2以下に制限した指定席を販売いたします。国のイベント開催制限の段階的緩和等により、発売後に未販売席を販売することがございます。 ※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ / 広響事務局 TEL: 082-532-3080 E-mail: info@hirokyo.or.jp http://hirokyo.or.jp/

新型コロナウイルス感染防止対策
について皆様への協力のお願い



広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ Hosokawa×Beethoven

8

指揮：下野 竜也 *Conductor : Tatsuya Shimono*

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任(2020年3月まで)。

2002年出光音楽賞、渡邊曉雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



ホルン：福川 伸陽 *Horn : Nobuaki Fukukawa*

「福川伸陽のホルンの響きが聴こえてくると、世界が一瞬にして変化するような気がする。ここではない世界のどこからか、不意に風が吹きわたってくるかのように。」(毎日新聞)

NHK交響楽団首席奏者。第77回日本音楽コンクール ホルン部門第1位受賞。ソリストとして、パドヴァ・ヴェネト管弦楽団、ベトナム交響楽団、京都市交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団、横浜シンフォニエッタ、兵庫芸術文化センター管弦楽団、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団他と共演。国内外の重要な指揮者、演奏家の信頼も篤く、パヴェロ・ヤルヴィやファビオ・ルイージをはじめ、故ビエロフラヴェクなどの絶賛や、ライナー・キュヒル、ハインツ・ホリガーとの共演も記憶に新しい。日本各地やアメリカ・ヨーロッパなどに数多く招かれており「la Biennale di Venezia」「ラ・フォル・ジュルネ」「東京・春・音楽祭」などの音楽祭にもソリストとして多数出演。キングレコードより3枚のソロCD、リチャルト・シュトラウスの協奏曲第2番のライブレコーディングや、オクタヴィアレコードより多数の室内楽CDをリリースし、音楽之友社刊「レコード芸術」誌上にて特選版に選ばれている。国際ホルン協会評議員、東京音楽大学兼任准教授。



下野竜也と広島交響楽団による「ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ」2シーズン目。各回ベートーヴェンの交響曲を番号順に一曲ずつ、それに地元広島市出身の細川俊夫の作品を組み合わせる。会場は、1200席のJMSアステールプラザ大ホール。ベートーヴェンのみならず、細川作品もじつに親密さをまとうて響く。現代作品であることをさほど意識させることなく、音楽そのものに耳を傾けることができる素晴らしい機会だ。今シリーズは福川伸陽などソリストも豪華。洗練と躍動する下野のスタイルが、広響ならではのソフトな響きと相まって、自然な呼吸感が宿ったベートーヴェンを生み出す。このオーケストラでは、当シリーズで初めてブライトコプフ新版を使用したこともあり、慣れているはずの作品にも新鮮な気持ちで取り組んでいることは、これまでの演奏からもよく伝わってくる。6月公演では、習作であり、滅多に演奏されないピアノ協奏曲第0番を小菅優と協演するの大きな話題だ。

(アフィニス文化財団 オーケストラ助成委員 鈴木 淳史)

広響の新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき平熱に比べて高い発熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。ご入場に通常よりお時間がかかる場合がございますので、時間には余裕をもってご来場ください。



会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内での不要な会話はお控えいただき、演奏後の「ブラボー」などのお声がけもおやめください。



客席は間隔を空けてお出しいたします。指定の席でご鑑賞ください。入場時、トイレなどは間隔を空けてお並びいただくようお願いいたします。